

さいたま市英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要

1 小学校教員

○平成30年度、令和元年度とさいたま市独自予算にて実施している「小学校教員のための英語力向上研修会」を、大学の教員養成課程にてコアカリキュラムを修了した学生が小学校教員として採用が始まるまで毎年実施している。

- ・目的：さいたま市立小学校で「グローバル・スタディ」の指導にあたる教員の英語力向上を図る。
- ・内容：
 - ・自己紹介等、英語によるコミュニケーションの基礎
 - ・英語指導に係る基礎知識
 - ・クラスルームイングリッシュ
 - ・「グローバル・スタディ」の授業づくり（教材、指導法）
 - ・ティーム・ティーチングの在り方
 - ・授業準備等における英語での対話練習
 - ・さいたま市教育委員会作成映像教材の活用
 - ・模擬授業 等
- ・その他：各会場において、参加者を20人×5グループに編成。20人のグループに担当外国人英語指導員（ネイティブスピーカー）を配置し、2日間のプログラムをのべ8会場実施する。

○文部科学省「オンライン・オフライン研修実証事業」を活用した、小学校教員の英語力向上研修を実施している。オンライン、オフラインいずれも詳細については、文部科学省からの正式通知を受けてから決定している。

2 中学校教員

○文部科学省「オンライン・オフライン研修実証事業」を活用した、中学校教員の英語力等強化を目的とした研修を実施している。オンライン、オフラインいずれも詳細については、文部科学省からの正式通知を受けてから決定している。

※さいたま市は、平成27年度～令和元年度の5年間で、英語教育推進リーダー中央研修を終えた教員10名による中学校グローバル・スタディ科を対象とした、「中学校グローバル・スタディ科教員研修会」を実施して、中学校教員の英語による指導力向上に努めた。なお、5年間で、259名の中学校グローバル・スタディ科担当者が受講を終えた。

3 小・中学校教員共通

○文部科学省から年度当初に通知される、「中・高等学校の英語教員及び小学校教員の英語力の強化について」を、各校に周知し、英語資格取得を促す。

○市立学校教員対象としたさいたま市教員専用会場の設置。平成30年度から実用英語技能検定準1級本会場実施。引き続き、その他検定試験の受検機会の創出を目指す。

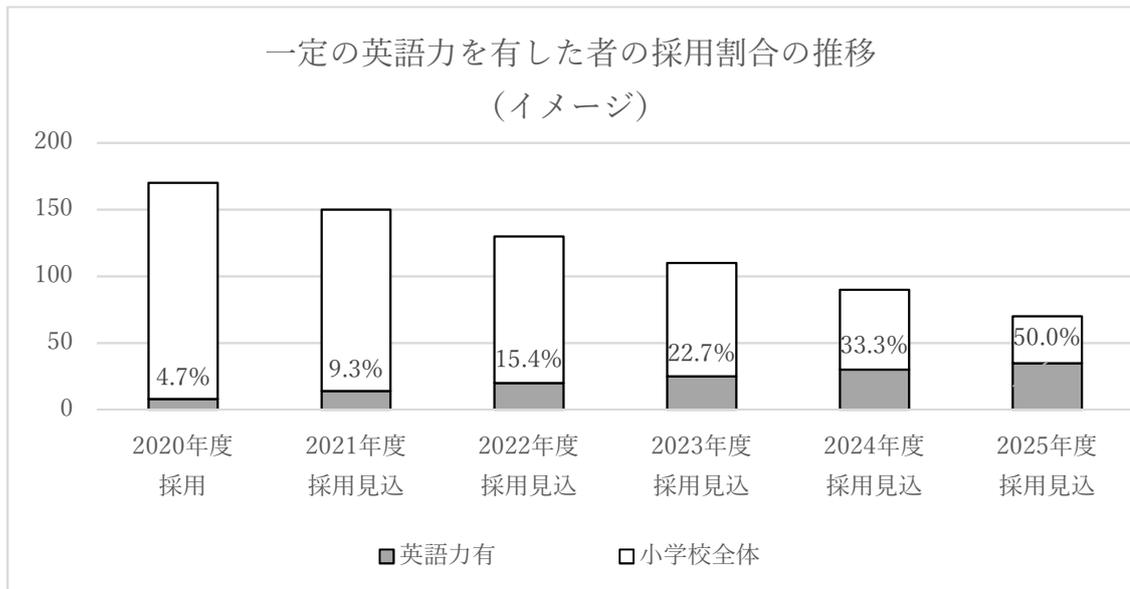
(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

令和元年度「英語教育実施状況調査」を活用し、目標を達成するために、以下の数値を把握し、手立てを模索する。

- ①生徒の英語力
- ②「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定等の状況
- ③生徒の英語を用いた言語活動の割合
- ④パフォーマンステストの実施
- ⑤英語担当教師の英語力
- ⑥授業における英語担当教師の英語使用状況（学年別）
- ⑦外国語指導助手（ALT）等の活用人数
- ⑧外国語指導助手（ALT）等の活用授業時数
- ⑨小学校と中学校の連携に関する状況
- ⑩英語の授業におけるICT機器の活用状況

小学校教員の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合について、2025年度に50%以上とするために、以下の年次目標を設定する。

採用見込	2020年度 採用	2021年度 採用見込	2022年度 採用見込	2023年度 採用見込	2024年度 採用見込	2025年度 採用見込
小学校教員	170	150	130	110	90	70
一定の英語力を有する者 (英語特別含む)	8	14	20	25	30	35
英語力を有する者の割合	4.7%	9.3%	15.4%	22.7%	33.3%	50.0%



〈目標の達成に向けた具体的な手立て〉

本市では教員採用選考試験において、小学校英語教育推進特別選考「英語特別枠」を設けており、一定の英語力を有した小学校教員を採用することができている。今後、この英語特別枠の採用者数を拡大するとともに、受験者への優遇措置も視野に入れながら、選考方法についても検討を重ねていく。

補 足

教員採用選考試験における、小学校英語教育推進特別選考「英語特別」の受験資格の見直しを行った。

【平成32年度採用（令和元年度実施）】

〈受験資格〉小学校における英語教育を推進する意欲があり、グローバル・スタディ専科教員を希望する方で、次の①～③のいずれかに該当する方を対象とする。

①小学校教諭普通免許状を所有している方又は平成32年度3月31日までに取得見込の方で、次のア～ウのいずれかに該当する方を対象とする。

ア 実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格者。

イ TOEFL iBT（国際教育交換協議会）80点以上取得者。

ウ TOEIC Listening & Reading Test（国際ビジネスコミュニケーション協会）785点以上取得者。

*上の①ア～ウの資格等の有効期限は設定していません。過去に一度でも要件を満たせば該当する。

②中学校教諭普通免許状（英語）を所有している方又は平成32年3月31日までに取得見込の方。

③高等学校教諭普通免許状（英語）を所有している方又は平成32年3月31日までに取得見込の方。

**【令和3年度採用（令和2年度実施）については、以下の部分を変更した】**

ウ TOEIC Listening & Reading Test と TOEIC Speaking & Writing（国際ビジネスコミュニケーション協会）の合算で1560点以上取得者。ただし、TOEIC Speaking & Writing を2.5倍にして合算する。

(3) 研修の体系と内容の具体

1 初任者研修

- (1) 対象 さいたま市立学校に勤務する初任者
- (2) 目的 現職研修の一環として、1年目の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。
- (3) 内容
 - 【小学校】教科等研修（コース別）「グローバル・スタディ」 半日1回
 - 【小学校グローバル・スタディ専科】「教科別研修」 半日×9日
 - 【中学校】「教科別研修」 半日×9日

2 5年経験者研修

- (1) 対象 5年経験者研修の対象となる教員
- (2) 目的 これまでの研修内容及び教職経験を踏まえて、教科指導等における専門的な知識や技能の充実を図り、実践的指導力や教員としての資質の向上を図る。
- (3) 内容 「若手教員のための授業力UP講座」 2時間
代表教員による模擬授業や、基本的な教科指導の工夫改善についての講義・演習を通して、授業の工夫改善の視点を知り、実践的指導力の向上を図る。

3 中堅教諭等研修

- (1) 対象 10年経験者研修の対象となる教員
- (2) 目的 現職研修の一環として、1年目の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて、教員としての資質の向上を図る。
- (3) 内容 「アクティブ・ラーニング研修」 1時間30分
確かな学力をはぐくみ、個性を生かす教育の推進において、生き生きと学ぶ授業を目指すために、アクティブ・ラーニングの意義と有用性を知るとともに、授業づくりのポイントを学ぶ。

4 教育経営研修

- (1) 対象 さいたま市立学校に勤務する教諭で、所属校の校長が推薦した者
- (2) 目的 教育実践の経験と実績を基に、学校教育に関する理論と方法、実践上の諸課題を究明し、学校運営の推進者としての識見を養い、資質を向上する。
- (3) 内容 「グローバル人材の育成について ～さいたま市の英語教育と世界の教育の動向について～」 1時間30分

